



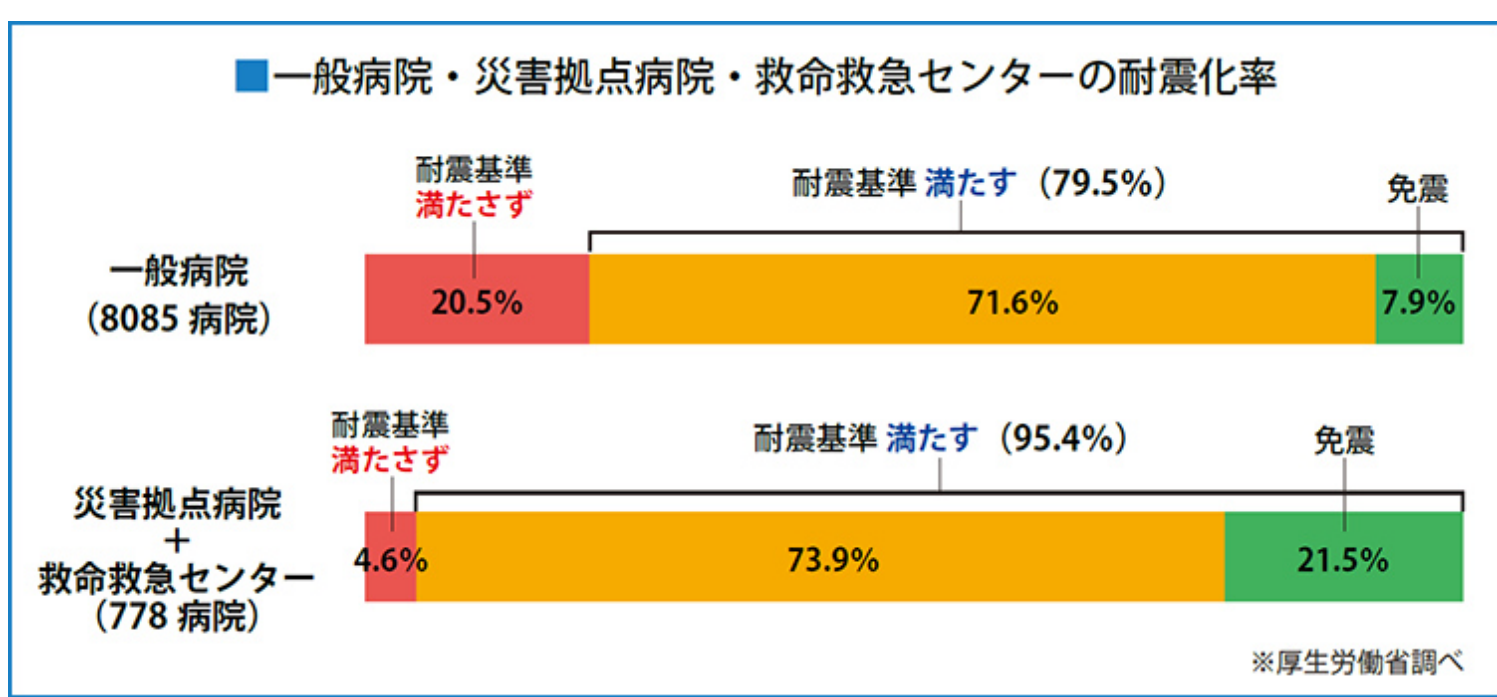
## AIR断震 倶楽部通信 34

世界初！空気力で家を浮かす！  
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。  
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。  
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。  
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

### 巨大地震に際し、治療の拠点となる病院は、高い耐震性を発揮できる免震構造が望ましい。



大震災発生に備え、ケガ人の収容・治療にあたる病院は高い耐震性を要求されます。厚生労働省が10月10日に発表した令和4年の「病院の耐震改修状況調査」での耐震化状況は、耐震基準を満たす病院は79.5%ですが、揺れによる被害を極めて小さくできる免震構造の病院はまだ7.9%しかありません。  
この内、災害時に機能維持が要求される災害拠点病院、救命救急センターでは、耐震基準を満たす病院は95.4%、免震構造の病院は21.5%と一般病院よりは高いもののまだまだ充分とはいえません。  
耐震基準を満たしていない病院は一刻も早く耐震化を進め、耐震基準は満たしていても巨大地震に対しては機能維持ができなくなる危険性のある病院は、地震の揺れから建物を切り離すことのできる免震構造へ改修することが望ましいものです。それらの病院に対しては、免震導入を促す国の支援も必要でしょう。

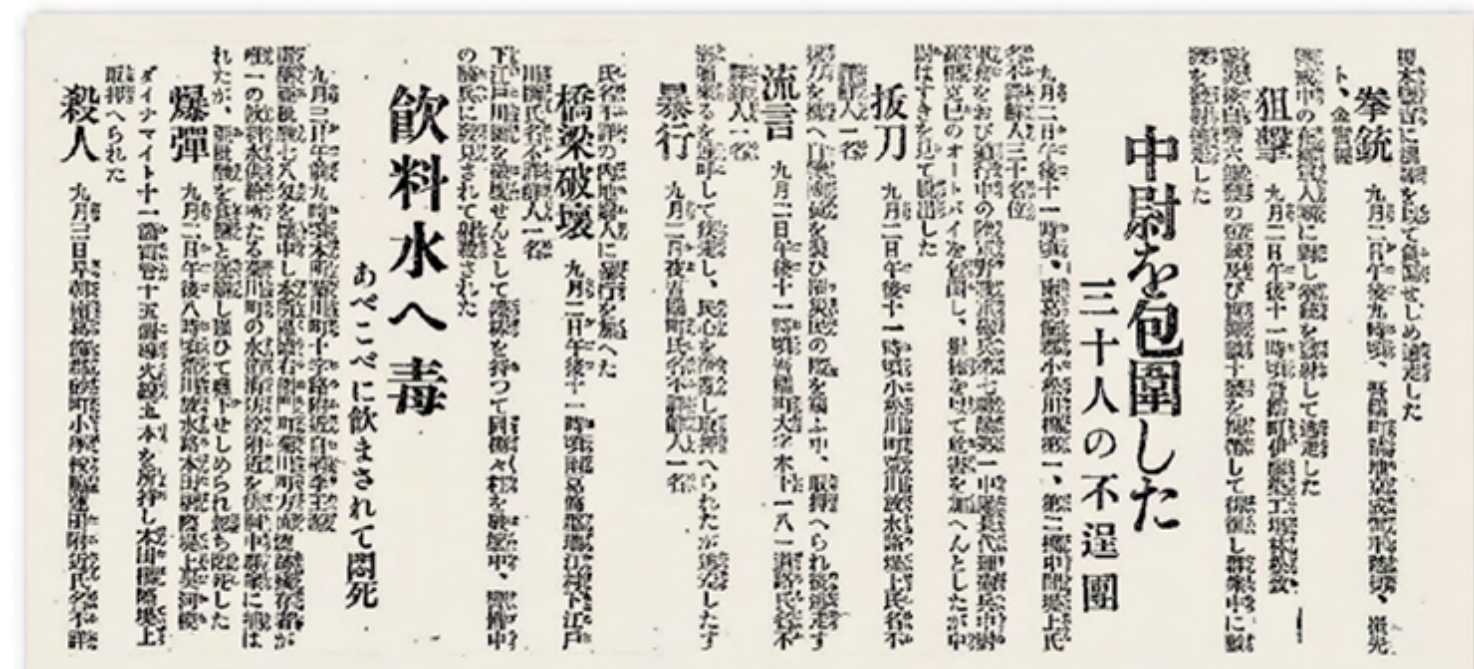
詳しくはHPで

詳しくはHPへ▶

### 極端な情報不足時代の関東大震災。デマが飛び交い痛ましい悲劇が起きた。



関東大震災が発生した1923年当時の主要マスコミは、新聞と雑誌以外にはありませんでした。その新聞社も雑誌社も被災し、数日間は号外すら発行できませんでした。大地震が起こり、その直後から街のあちこちから出火し炎が広がっていても、人々はどこに危険があるのかもわからずに逃げ惑うしかなかったのです。  
そのような情報不足の中、誰かが叫んだ噂話や嘘に尾ひれがつき、「朝鮮人の暴動が始まった」「井戸に毒を入れられた」というデマが広がり、自警団による朝鮮人の虐殺という痛ましい悲劇を巻き起こしました。



図は大地震から約50日後の、1923年10月22日付東京時事新報の記事ですが、「拳銃」「不逞団」「抜刀」「橋梁破壊」「飲料水へ毒」「爆弾」「殺人」など物々しい文字が溢れていますが、どれも根拠の不確かな記事です。  
このような事態を受け、1925年に日本で最初のラジオ局が開局され、ラジオ受信機の普及により正確な情報をいち早く受けることが可能になりました。

詳しくはHPで

詳しくはHPへ▶

### 地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。  
エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。  
震度7の揺れを約1/30に軽減することができます。

「エアー断震システム」について詳しく知りたい方はこちら▶

詳しくはコチラ▶

「AIR断震倶楽部通信」バックナンバーはこちらから▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の詳しい資料請求はこちらまで▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の効果を体感してみませんか。関東に4カ所体験できる展示場があります。

詳しくはコチラ▶

#### 大臣認定取得

2019年4月3日国土交通大臣認定を取得しました。

詳しくはコチラ▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!  
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。  
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム  
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階  
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273  
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら